

## 令和4年度 第1回恵那市スポーツ推進審議会

日時：令和4年12月2日（金）

午前10時00分～

場所：恵那市消防防災センター

1. 委嘱書の交付

2. 教育長あいさつ

3. 自己紹介

4. 会長、副会長の選任

5. 会長、副会長のあいさつ

6. 会議の公開、公表について

7. 報告

報告1 青戸慎司氏によるかけっこ教室の実施について

報告2 こども園運動プログラムについて

報告3 運動・スポーツに関するアンケート調査結果について

報告4 「2022 健幸フェスタ in えな」の開催について

報告5 市内在住スポーツ選手の活躍について

8. 議題

議題1 スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について

9. その他

・中学校部活動の地域移行について

・村上佳菜子さんスケート教室&トークショーの開催について

10. 閉会のあいさつ

令和4年度 恵那市スポーツ推進審議会 委員名簿

No.	所 属	氏 名	役職	備考
1	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	三 宅 祥 市		恵那市スポーツ推進委員連絡協議会会長
2	中部大学生命健康科学部 スポーツ保健医療学科	酒 井 俊 郎		中部大学生命健康科学部 スポーツ保健医療学科教授
3	中京学院大学経営学部	横 谷 淳		中京学院大学経営学部専任講師
4	恵那市障害者団体連絡協議会	三 宅 弘 文		恵那市障害者団体連絡協議会会長
5	恵那市地域自治区会長会議	瀬 瀬 佳 恭		飯地地域自治区会長
6	(株) アクトス	磯 村 信 雄		(株) アクトス 管理部部長
7	(公財) 恵那市体育連盟	山 本 好 作		(公財) 恵那市体育連盟会長
8	恵那市医療福祉部	加 藤 真 治		恵那市医療福祉部長
9	恵那市教育委員会	西 尾 朋 子		副教育長
10	恵那市小中学校校長会	丸 山 成 之		岩邑中学校校長
11	恵那市こども園長会	安 藤 美 香 子		大井こども園長

【事務局】

1	教育委員会事務局長	長 谷 川 幸 洋	
2	医療福祉部 健幸推進課長	瀬 瀬 雄 二	
3	教育委員会事務局 スポーツ課長	服 藤 知 晃	
4	教育委員会事務局 スポーツ課課長補佐	加 藤 友 美	
5	教育委員会事務局 スポーツ課課長補佐	柘 植 篤 志	
7	(公財) 恵那市体育連盟 専務理事	三 浦 幸 慈	
8	(公財) 恵那市体育連盟 事務局長	大 嶋 卯 巳	

○恵那市スポーツ推進審議会条例

平成25年12月20日条例第32号

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号。以下「法」という。)第31条の規定に基づき、恵那市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、法第35条に規定するもののほか、スポーツの推進に関する重要事項について、教育委員会の諮問に応じ調査審議して答申し、又は意見を具申する。

(組織)

第3条 審議会は、委員12人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) スポーツに関する知識経験のある者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から翌年度の3月31日までとする。ただし、委員が欠けた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

3 最初に委嘱された委員の任期は、第1項の規定にかかわらず、平成28年3月31日までとする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集し議長となる。ただし、委員委嘱後最初の会議は、教育委員会が招集する。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 議長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又はこれらの者から必要な資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

一部改正〔平成26年条例4号・29年3号〕

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し、必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

## 報告1 青戸慎司氏によるかけっこ教室の実施について

陸上100m走元日本記録保持者であり、日本人男子初、夏冬オリンピック出場の青戸慎司氏を招き、5月から9月までに市内小学校全14校でかけっこ教室を実施した。

小学3～6年生を対象に行い、参加人数は計714人であった。事前の調査で講演を希望した5校（恵那北小学校、飯地小学校、武並小学校、山岡小学校、大井小学校）では、かけっこ教室後に同講師による講話も実施した。

各かけっこ教室の終了後に教職員に行ったアンケートでは、内容について「とても満足」、来年度の教室希望について「希望する」と答えた割合が100%となり、満足度の高い事業となった。

また、昨年度に引き続き、11月5日（土）に市内小学生への公募による教室を開催した。参加者は、こども107人、保護者70人、合計177人であった。



かけっこ教室の様子（中野方小学校）

## 報告2 こども園運動プログラムについて

平成28年度から中部大学へ委託し、実施しているこども園運動プログラムでは、毎年市内の公立こども園7園で実施していた運動遊び交流会を、今年度から全14園で実施した。

また、昨年度まで行っていた市内全域での募集による親子の運動遊び、及び保護者への講話を、希望する9園で実施した。

親子運動遊び交流会では、新聞紙やタオルなど身近にあるものを使ってふれあいながら体を動かし、親子で楽しい時間を過ごすことができた。

この後、保護者向けに幼児期の運動、生活習慣の大切さについての講話を行い、保護者にも大変好評であった。



親子交流会の様子（東野こども園）



保護者向け講話の様子（やまびここども園）

### 報告3 運動・スポーツに関するアンケート調査結果について

市内小学5年生の児童及び中学2年生の生徒を対象にスポーツ推進計画の目標指標の現状値を確認するため、令和4年9月13日（火）～10月13日（木）アンケート調査を行った。回答結果詳細は別紙のとおり。

推進計画の目標指標については以下のとおり。

#### スポーツ推進計画 目標指標の成果

##### 【子どもの健全育成】

目標指標	算出方法		単位	H26 策定時	R 2 中間見 直し	R 3	R 4	目標数 値 R 7
運動・スポーツが好きな子どもの割合	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「あなたは現在、運動やスポーツをすることが好きですか。」より	小学生	%	62.7	66.5	55.1	56.6	75.0
		中学生	%	52.0	54.9	45.9	48.8	63.0
子どものスポーツ実施率	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「その運動やスポーツを行った日数を全て合わせると、1年間にどの程度になりますか。」より	小学生	%	62.5	68.2	76.9	70.0	79.0
		中学生	%	76.8	80.9	81.9	83.1	90.0

##### 【競技力向上】

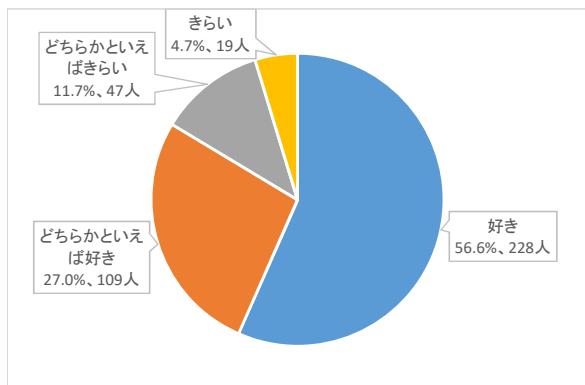
目標指標	算出方法		単位	H26 策定時	R 2 中間見 直し	R 3	R 4	目標数 値 R 7
子どもたちの「上達したい」意欲・やる気	運動・スポーツに関するアンケート調査 設問「あなたがその運動を行ったきっかけはなんですか」より	小学生	%	52.0	42.7	39.5	32.8	52.0
		中学生	%	50.2	40.2	39.8	35.0	51.0

## 運動・スポーツに関するアンケート調査について

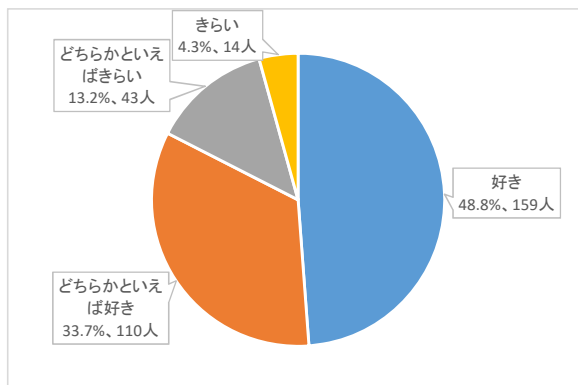
対象	市内公立小学校の5年生全児童
	市内公立中学校の2年生全生徒
方法	インターネットの回答フォーム
期間	令和4年9月13日～10月13日
回収率	90.7% (729/804)

あなたは現在、運動やスポーツをすることが好きですか。

【小学生】

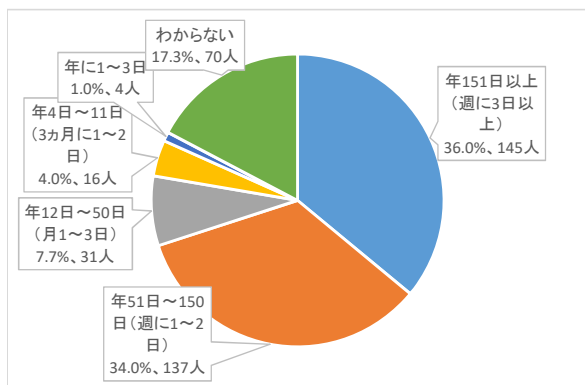


【中学生】

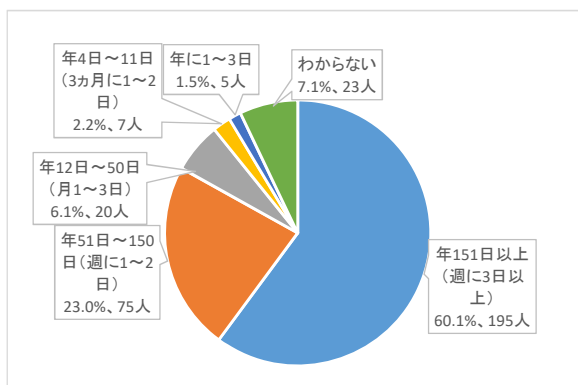


あなたが学校の授業以外で運動やスポーツを行った日程を全て合わせると、1年間にどの程度になりますか？  
(学校の休み時間、放課後、運動クラブや部活動の時間もすべて含めた日数をお答えください。)

【小学生】

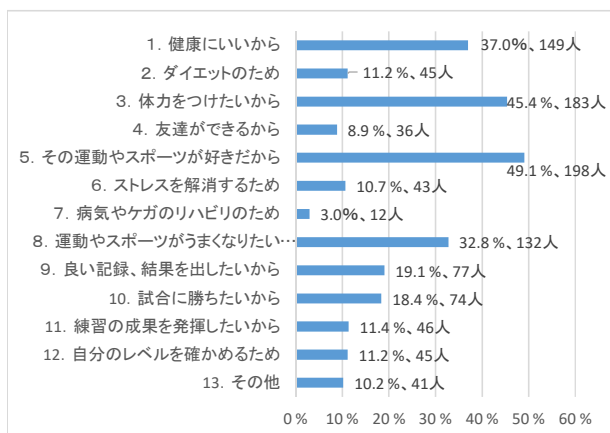


【中学生】

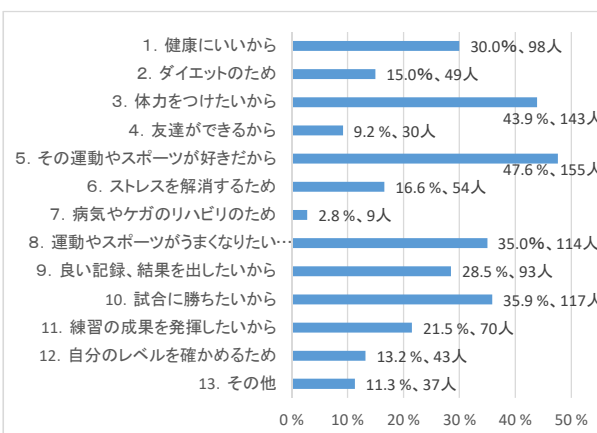


あなたが運動やスポーツをするきっかけはなんですか。(当てはまるものすべてを選んでください。)

【小学生】



【中学生】





## 報告4 「2022 健幸フェスタ in えな」の開催について

「2022 健幸フェスタ in えな」を10月9日（日）まきがね公園で3年振りに開催し、参加者数は2,000人であった。

会場では、健康、福祉、スポーツ部門の関係団体による展示啓発や体験を行い、スポーツ部門では、スポーツ体験、体力測定等を行った。

この他に、子どものスポーツに対する興味や関心を高め、スポーツを始めるきっかけづくりとなることを目的としたスポーツ能力測定会を実施した。市内小学生を対象に、最新機器で運動能力（10mスプリント、敏捷性、ジャンプ力、リカバリーバランス、反応ステップ、スイングスピード）を測定し、データを基に本人の能力の特性から向いているスポーツ種目の提案や、トレーニング方法をアドバイスし、大変好評であった。参加者は、83人であった。





## 報告5 市内在住スポーツ選手の活躍について

### 1. 世界大会出場

大会 FISUワールドユニバーサルシティゲームズ冬季大会

種目 スピードスケート

所属 恵那市体育連盟

選手 遠藤 二千翔 (三郷町)

大会 WORLD of DANCE (ワールドオブダンス)

種目 ダンス

所属 ダンスチーム「ARK」

選手 伊藤 千愛 (大井町)

西尾 美心 (山岡町)

堀井 日菜 (岩村町)

### 2. 全国大会出場選手

(令和4年度10月末までに激励会を開催した方)

大会名	種目	所属	選手	地区
JOCジュニア オリンピックカップ大会 2022年度全日本ジュニア レスリング選手権大会	レスリング	中津商業 高等学校	野田涼一	長島
			伊藤慶大	明智
とびうお杯第37回全国 少年少女水泳競技大会	水泳	飯地 小学校	長谷川大夢	飯地
リボビタンカップ第53回 日本少年野球選手権大会	硬式野球	春日井 ボーイズ	休石隼翔	岩村
令和4年度全国高等学校 総合体育大会	テニス	麗澤瑞浪 高等学校	山田奈々	大井
	ウェイトリフ ティング	中津 高等学校	鷺見一樹	中野方
	ソフトボール	多治見西 高等学校	牧瀬悠依	東野
			安江満莉香	長島
弓道	中京 高等学校	吉村匡由	上矢作	
		小木曾里玖	上矢作	
第50回全日本社会人 ソフトテニス選手権大会	テニス	竜吟庭球会	安藤誠悟	岩村
		e-NAKA倶楽部	大塚圭吾	武並

第 77 回国民体育大会	水泳	中京 高等学校	山下颯士	長島
	ウエイト リフティング	中津 高等学校	鷺見一樹	中野方
	トライアスロン	中部大学	原田 怜	大井
第 52 回全国中学校相撲 選手権大会	相撲	麗澤瑞浪 中学校	春日井雅大	山岡
第 33 回全国都道府県 中学校相撲選手権大会				
令和 4 年度全国高等学校 定時制通信制体育大会	陸上	阿木 高等学校	加納由宇	長島
			中井ジョンウェイ	山岡
	剣道		春日井崇史	明智
			佐々木秀太郎	長島
第 38 回全国高校生グレコロー マンレスリング選手権大会	グレコローマ ンレスリング	中津商業 高等学校	伊藤慶大	明智
ユニクロ全日本ジュニア テニス選手権 2022	テニス	恵那東 中学校	山田舞子	大井
2022U-15 全国選抜 ジュニアテニス選手権大会				
第 22 回全日本選抜還暦 軟式野球大会	軟式野球	恵那 ワインズ	宮代 努	大井
			水野教久	長島
			梅本健司	長島
			長屋宜宏	長島
			市川玲而	武並
			宮地計雅	武並
			大野健二	武並
			池戸英徳	武並
			服部幸広	岩村
			水野教正	岩村
勝 康弘	山岡			
第 41 回全日本クラブ 卓球選手権大会	卓球	恵那 東中学校	篠原煌星	大井
ねんりんピックかながわ 2022	弓道	恵那市 弓道連盟	鈴木隆文	大井
2022 年全日本卓球 選手権大会	卓球	恵那 クラブ	林 孝治	長島

議題1 スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和4年度の事業成果（令和4年9月末現在）	今後の取り組み又は課題
1 健康づくり	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健康増進を目的として、運動やスポーツを実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキング等の手軽な運動（有酸素運動）が健康増進につながることは、広く認知されている。（87.8%）</li> <li>・意識的に普段から歩こうとしたり、今後ウォーキングに取り組みたいと考えている方が多い。（78.5%）</li> </ul> </li> <li>●運動やスポーツの実施状況の低迷 <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市の成人の週1回以上のスポーツ実施率は、36.6%。国（53.6%：令和元年度）や県（47.7%令和元年度）より低い状況である。</li> <li>・運動やスポーツが思うようにできない理由としては、仕事（家事、育児）が忙しく時間がないという理由が最も多い。（31.6%）</li> <li>・働き世代の30歳代のスポーツ実施率が低い。</li> <li>・中高年の運動・スポーツ活動の推進、初心者向けのスポーツ教室の充実が求められている。また、高齢者や障がい者の方にとって、手軽な運動は交流や社会参加のきっかけとしても期待されている。</li> </ul> </li> <li>●高齢化の進展や生活習慣病の増加が懸念 <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市は、全国や県と比較して高齢化率及び後期高齢化率が高い。</li> <li>・生活習慣病の受療率が県内他市と比較して高く、認知症や寝たきりなどの要介護者の増加、介護支援者の負担増加が懸念される。</li> </ul> </li> <li>●新型コロナウイルス感染防止を念頭に置いた運動・スポーツの取り組みが必要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動スポーツの活動時のみではなく、普段の利用時においても感染防止を図る必要がある。</li> <li>・運動・スポーツを安全に行うには、一人ひとりの感染防止の意識と施設や競技ごとの感染防止対策の徹底が求められる。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎運動やスポーツを始めるきっかけづくりが必要。</li> <li>◎ウォーキングなどの身近な運動に取り組む。</li> <li>◎自身のライフスタイルに合わせて運動・スポーツに親しむことが大切</li> <li>◎健康寿命の延伸を図る。</li> <li>◎障がいの有無に関わらず、全ての人が運動・スポーツに親しむことが大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民一人ひとりが運動・スポーツに親しむことが重要。</li> <li>●運動・スポーツを始めるきっかけが多く、身近な場所で、自身のライフスタイルに合わせて取り組むことができるまちを目指す。</li> <li>●年齢や障がいの有無に関わらず、全ての人が健康でいきいきとした生活を送ることができるまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ実施率 H26 R2 目標値（R7） 36.0% ⇒ 36.6% ⇒ 42.0%</li> <li>●積極値に歩いている人の割合 H26 R2 目標値（R7） 21.1% ⇒ 24.3% ⇒ 33.0%</li> <li>●健康であると感じている人の割合 H26 R2 目標値（R7） 77.9% ⇒ 77.1% ⇒ 82.0%</li> <li>●スポーツ実施者数 R2 目標値（R7） 360,738人 ⇒ 363,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「健幸ウォーキング」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・プチ講習でのノルディックウォークや歩き方講座を開催した。 3回 参加者：17名</li> </ul> </li> <li>●「エーナ健幸ポイント」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢を健診対象者の16歳以上に引き下げて実施。3歳から中学生には別に運動の取り組みメニューを実施。子どもから大人まで運動・スポーツをする動機付けをした。 応募件数：309件 応募者：187名（9月30日現在） ※うち、3歳以上16歳未満の応募件数：30件</li> </ul> </li> <li>●「きっかけづくり」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツ・運動なんでも相談窓口」では、相談件数が13件。新たな事業を企画したい、指導者の紹介をしてほしい、教室の情報や団体情報等を教えてほしいといった相談があった。</li> <li>・年2回市内全戸配布する体育連盟広報誌において、種目団体や地区体育協会のコーナーを設けて活動紹介を行った。また、各号で、何かをしながら手軽にできる「ながらエクササイズ」を紹介した。</li> </ul> </li> <li>【その他の健康づくり施策】</li> <li>○各種健康教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸推進課、包括支援センターと連携をとり、山岡健康増進センター及びまきがね公園体育館健康体力センターを利用して、健康教室を開催している。</li> <li>・「ココトレチャレンジ」4月～9月 55名参加</li> <li>・プチ講習の実施(毎週金曜日) 1回30分の筋トレ、ストレッチボールなどのトレーニング講習を開催している。25回開催 延べ173名参加</li> <li>・まきがね健康運動教室の実施(毎週木曜日) 24回開催 延べ176名参加</li> </ul> </li> <li>・「まきがね社員も会社も健康増進」事業 事業所ぐるみでの健康体力センター利用を、恵那商工会議所とも連携をとり、市内企業へ呼びかけた。市内外11事業所から採用され、社員及びその家族に対して、健康体力センター利用が可能となった。9月末現在で健康体力センター回数券の販売枚数が前年比較で約2倍となっている。</li> <li>・2022健幸フェスタinえなの開催 10月9日（日）まきがね公園にて開催した。会場では、健康、福祉、スポーツ部門の関係団体による展示啓発や体験を行い、2,000人の参加があった。スポーツ部門では、スポーツ体験や体力測定のほか、小学生を対象にしたスポーツ能力測定会を実施し、83人の参加があり好評であった。</li> <li>○高齢者の健康・体力づくり教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・壮健クラブにて軽スポーツや体力測定を実施する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。しかし、対策強化宣言の解除もあり、新体育競技として「ポッチャ」を取り入れる。機材を購入し、競技ルールの説明会を開催し、各地区でも手軽にできるよう進めている。</li> </ul> </li> <li>○障がい者のスポーツ交流会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症により2年間開催が見送られていたが、感染者が減少したため、関係者による会議を3回開催し、スポーツ交流会を計画した。 10月23日、恵那市障がい者スポーツ交流会ポッチャ体験会を開催。6チーム、36人参加</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「健幸ウォーキング」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・市内で開催されるウォーキング大会を市民メール等で紹介する。</li> <li>・11月に「清流の国ぎふ・1ヶ月ウォーキングチャレンジ」開催。（県実施）</li> </ul> </li> <li>●「エーナ健幸ポイント」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜課題＞</li> <li>・令和3年度の応募者数は349名で、対象者の1%に満たない。</li> <li>＜取り組み＞</li> <li>・令和5年度は、市公式アプリ（え～なび）の機能改善とポイントメニューの再検討を行う。他市や他県のアプリによる取り組み情報を収集し、より参加しやすいシステムを検討する。</li> </ul> </li> <li>●「きっかけづくり」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・窓口やHP、広報誌等を活用し、スポーツに関して気軽に相談できるよう周知していく。</li> <li>・（継続）体育連盟加盟団体や認定生涯学習活動団体の会員獲得のため、会員募集や活動内容を市ウェブサイトにてPRする。</li> <li>・年2回発行の体育連盟広報紙で競技種目団体や地区体育協会の取り組みを紹介する。</li> </ul> </li> <li>【その他の健康づくり施策】</li> <li>○各種健康教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・体育連盟の広報誌にて自宅でできる健康運動の紹介や各種教室の紹介を実施する。</li> </ul> </li> <li>＜課題＞</li> <li>・各種教室において、新規参加者を増加させる取り組みが必要である。</li> <li>○高齢者の健康・体力づくり教室の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜課題＞</li> <li>・依然、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が低下している。引きこもりにならないよう呼びかける必要がある。重症化しやすい高齢者であるため、細心の注意を払い、取り組みを進める。</li> </ul> </li> <li>○障がい者のスポーツ交流会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・身体障害者東濃ブロック大会→感染症対策のため、中止決定</li> <li>・次年度の交流会についての検討を行う。</li> </ul> </li> </ul>

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和4年度の事業成果（令和4年9月末現在）	今後の取り組み又は課題
2 子どもの健全育成	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運動・スポーツをする人は、子どもの頃から運動をしている</li> <li>●運動やスポーツをすることは好きな人の割合は、子どもから大人に成長するにつれて減少傾向にある。</li> <li>●子どもの頃に運動が好きだった人は、大人になっても運動やスポーツが好きである傾向がある。</li> </ul> <p>●青少年の心身の健全育成が求められている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家族とのコミュニケーション不足や基本的な生活習慣の確立不足、地域での人間関係の希薄化、地域活動への関心の薄れなどが問題である。</li> <li>●保護者の生活習慣と子どもの生活習慣は密接に関連している。保護者の生活習慣を見直し、子どもの健全な育成・発達をささえていくことが必要。</li> </ul> <p>●子どもたちの遊び場の環境変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートフォン・家庭用ゲーム機の普及や安全性の観点などから、屋外で遊ぶ子どもの姿が少なくなっている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎乳幼児期から身体を動かす楽しさを知ることが大切。</li> <li>◎運動やスポーツを楽しみながら続けられる環境が必要。</li> <li>◎運動・スポーツを通じて、身体だけでなく心の成長を促すことが大切。</li> <li>◎子どもたちが安心・安全に遊べる環境づくりが重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちが運動・スポーツを心から楽しむことが重要。</li> <li>●乳幼児期から親子で身体を動かし、身体を動かす楽しさを体感することができるまちは目指す。</li> <li>●子どもたちが豊かな自然の中や多様な人間関係の中で、運動・スポーツを通じて人と人とのつながりや思いやりをも体感することができるまちは目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運動・スポーツが好きなこどもの割合</li> <li>【小学生】 H26 R2 目標値（R7） 62.7% ⇒ 66.5% ⇒ 75.0%</li> <li>【中学生】 H26 R2 目標値（R7） 52.0% ⇒ 54.9% ⇒ 63.0%</li> <li>●子どものスポーツ実施率</li> <li>【小学生】 H26 R2 目標値（R7） 62.5% ⇒ 68.2% ⇒ 79.0%</li> <li>【中学生】 H26 R2 目標値（R7） 76.8% ⇒ 80.9% ⇒ 90.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「運動習慣はじめの一步」プロジェクト</li> <li>●こども園運動プログラムでは、こども園園児の体力測定を5～6月に実施した。 参加者：475名</li> <li>●こども園運動遊び交流会を8～11月に14園で実施した。 参加者：410名（うち保護者の参加者131名）</li> <li>●こども元気プラザ、子育て支援センターでは、乳幼児の親子を対象にした運動遊び行事を毎月実施し、乳幼児期に体を動かす楽しさを感じてもらおう工夫をしている。</li> <li>5月 ふれあい遊び 参加者：親子 9組21名</li> <li>5月 はじめてのリトミック（山岡支C） 参加者：親子 8組</li> <li>7月 夏祭り 参加者：親子 20組42名</li> <li>7月～8月 水遊び</li> <li>8月 夏祭り（恵南） みんなでフラダンス</li> <li>9月 体をつかって遊ぼう 参加者：親子11組22名</li> <li>9月 親子エアロビ（やまびこ支C） 参加者：親子 7組15名</li> <li>10月 ベビーマッサージ（山岡支C） 参加者：親子 6組</li> <li>10月 親子体操 参加者：親子12組27名</li> <li>11月 親子ヨガ 参加者：親子 8組16名</li> <li>●こども園年長対象のキッズサッカー教室開催した。 5回 参加者：152名</li> </ul> <p>【その他の子どもの健全育成施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学生を対象とした運動・スポーツ教室の実施</li> <li>●恵那市スポーツ少年団交流会実施事業 5月4日、15日野球 参加者約200名、 9月3日、4日野球 約200名</li> <li>●東濃地区スポーツ少年団交流会実施事業 5月29日 ウォークラリー 市内岩村町で実施 参加者約60名（土岐市・恵那市より参加）</li> <li>●中学生トレーニング教室 中学生を対象に、各種目で必要となる動きづくりを指導する「中学生トレーニング教室」を開催している。 4月～9月 毎週水曜日 25回165名参加</li> <li>●市内小学校5年生の児童及び中学2年生の生徒を対象に運動実施率を把握するため、アンケートを8～10月に実施した。 回答者：729名（回答率90.7%）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スケート場の利用状況について</li> <li>●初心者インラインスケート無料教室3回153名参加</li> <li>●キッズサッカー教室5回152名参加</li> <li>●夕涼みインライン3回912名参加</li> </ul> <p>※令和3年度スケート場利用者数：夏季 7,182人 冬季 37,238人 年間 1,662人 計 46,082人 令和4年度スケート場利用者数：夏季 8,930人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「運動習慣はじめの一步」プロジェクト</li> <li>●&lt;取り組み&gt;</li> <li>●こども園全園（14園）へ体力測定機器を配備し、いつでも測定できる環境作りを行う。</li> <li>●こども元気プラザ、子育て支援センターでは、乳幼児親子を対象とした運動遊び行事を年間を通して計画実施していく。</li> <li>●大井児童センターでは、赤ちゃん教室の中で体を動かす</li> <li>●お話やリトミックを実施している。</li> <li>●中野児童センターでは随時体力測定を実施しているほか、卓球体験、ボッチャ体験を実施している。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●こども園運動プログラムでは、子どもの体力向上の検証方法を検討する。</li> </ul> <p>【その他の子どもの健全育成施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○&lt;取り組み&gt;</li> <li>●継続して、小中学生を対象とした運動・スポーツ教室を実施する。</li> <li>●市内・市外交流会では、競技に偏らず、年間を通して参加をしていただけるよう、交流会の内容、実施時期について、指導者・担当者の参加意欲を高めるものとなるよう検討を重ね、広報に努め、多くの参加を募りたい。</li> <li>●10月9日、健幸フェスタ内のブース出展で、スポーツ少年団新規団員獲得事業として、活動体験コーナーを開催している。</li> <li>●10月16日、少年トリアスロン凸凹ラリーを実施（野外活動）</li> <li>●11月5日、オリンピックで中京大学陸上部の青戸慎司氏を招き、昨年に引き続きかけっこ教室を実施する。</li> <li>●11月12日、東濃地区スポーツ少年団指導者資質向上研修会を実施し、スポーツ少年団に限らず、東濃地域の指導者に対し「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）」普及講習会を実施する。</li> <li>●12月から1月にかけて、スポーツ少年団単位団において、体力測定を行い、全国で統一された基準をもとに「級」の認定を行う。</li> <li>●12月10日、スケート交流会を実施。</li> <li>●2月19日、サッカー交流会を実施。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校スケート教室：11月～2月、市内小中学校に呼びかけ、授業にスケート教室を取り入れることでスケートに慣れ親しむことのできる環境づくり</li> <li>●無料スケート教室：12月18日、1月29日、それぞれ2回ずつ実施</li> <li>●フィギュアスケート教室：12月13日から10回実施</li> <li>●アイススケートイベント：オープンイベント、クリスタルデー、クリスタルクリスマス、最終日感謝イベント参加者数を実施</li> </ul>

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和4年度の事業成果（令和4年9月末現在）	今後の取り組み又は課題																																				
3 コミュニティ	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運動・スポーツを通じた地域交流に期待 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通じた、仲間・友人づくり、生きがいづくり、地域の絆を深めるコミュニティの活性化を期待している。</li> <li>・「年齢に関係なく」「地域と交流したい」という理由で、子どもから大人まで一緒になって運動・スポーツをする機会があれば参加したいという意見が多い。（23.8.％）</li> <li>・子どもたちの多くが、地域の友だちや大人と一緒に運動やスポーツをしたいと考えている。（小学生：53.3％ 中学生：73.7％）</li> </ul> </li> <li>●地域における運動・スポーツの担い手が求められている <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のスポーツ活動の担う人材・団体として、（公財）恵那市体育連盟、恵那市スポーツ推進委員、恵那市地域スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、地区体育協会などがある。</li> <li>・地区体育協会やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブが企画・運営するイベントへの参加者数は減少傾向にある。</li> </ul> </li> <li>●ライフスタイルの変化に伴い地域のつながりが希薄化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフスタイルの都市化が進み、地域のイベントや行事に参加する人が減少している。</li> </ul> </li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域にける運動・スポーツ活動を活性化し、地域の交流を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域コミュニティの核となる組織や場所などの資源を活用することが重要。</li> <li>●指導者や大会ボランティアなど様々な立場から「ささえる」人を増やし、ささえる人同士のコミュニティづくりが重要</li> <li>●各地域で活動しているスポーツ推進組織に活力があり、コミュニティセンターや学校開放施設などを拠点として、運動・スポーツを通じて地域の交流や絆が生まれるまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世代を超えたスポーツ機会への参加意向 H26 R2 目標値（R7） 29.2% ⇒ 23.8% ⇒ 30.0%</li> <li>●総合型地域スポーツクラブ主催イベント参加者数 H26 R2 目標値（R7） 12,699人 ⇒ 14,667人 ⇒ 17,000人</li> <li>●イベントボランティア数 R2 R7 1,055人 ⇒ 1,100人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1人1運動・スポーツ」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から継続してスポーツを始めたい方、再開したい方等気軽に相談できる窓口を随時受付中。 相談件数 13件</li> <li>・スポーツ教室 小学生から大人までを対象とした弓道、バドミントン教室を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・弓道教室 10名参加</li> <li>・バドミントン教室 19名参加</li> </ul> </li> <li>・ウォータースポーツ教室 東京オリンピック事前キャンプ地としてポーランドカヌーチームが利用した笠置峡は、穏やかな水面のため、水辺のスポーツ初心者でも安心して取り組める環境であり、それを有効活用するため、カヌー(2回)、SUP(2回)、ボート(1回)の3種目の教室を企画したが、天候不良や上流からのダム放流によりSUP並びにボート教室は実施できず、カヌー教室2回のみの実施となった。74名が参加。</li> <li>・スケート場での教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>インラインスケート教室 3回 153名参加</li> <li>キッズサッカー教室 5回 152名参加</li> </ul> </li> <li>・市民体育大会の開催 9月末までに10種目を実施予定のうち、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら7種目実施した。 陸上6月19日、剣道・卓球8月21日、ソフトボール・クレール射撃・ソフトテニス・弓道8月28日。</li> <li>・各地区体育協会等では、コロナ感染症対策を講じてスポーツイベントを行った。 <table border="1" data-bbox="1676 829 2240 1060"> <tr> <td>長島町体育協会</td> <td>5月20日</td> <td>マレットゴルフ大会</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>東野体育協会</td> <td>6月26日</td> <td>健幸エクササイズ</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>三郷町体育協会</td> <td>5月8日</td> <td>インディアカ大会</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月12日</td> <td>ソフトバレー大会</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>中野方体育協会</td> <td>5月29日</td> <td>マレットゴルフ大会</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>飯地町体育協会</td> <td>7月上旬</td> <td>ゴルフ大会</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9月下旬</td> <td>ソフトバレー大会</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>岩村町体育協会</td> <td>7月10日</td> <td>体力テスト</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>串原体育協会</td> <td>6月上旬</td> <td>ささゆりウォーキング</td> <td>60人</td> </tr> </table> </li> </ul> </li> <li>●「ささえる」プロジェクト 10月9日に開催した健幸フェスタにて、日本大正村クロスカントリー大会及び恵那峡ハーフマラソン大会のボランティア募集の案内を行った。</li> <li>【その他コミュニティづくり施策】</li> <li>○総合型地域スポーツクラブの活性化 総合型地域スポーツクラブの会員数 えなイースト 284名 あけちクラブ 178名 福寿の里 79名 主なイベント えなイースト：バレー、卓球、ダンス等教室 あけちクラブ：貯金運動、インラインスケート、ゴルフ教室等 福寿の里：フットゴルフ体験会、ソフトバレー大会 飯中笠クラブ：カヌー教室</li> <li>○スポーツ団体PR事業 認定生涯学習活動団体や恵那市体育連盟加盟団体の活動状況やPR等の情報を恵那市ウェブサイトに掲載した。 9月末現在 28団体</li> </ul>	長島町体育協会	5月20日	マレットゴルフ大会	20人	東野体育協会	6月26日	健幸エクササイズ	32人	三郷町体育協会	5月8日	インディアカ大会	40人		6月12日	ソフトバレー大会	55人	中野方体育協会	5月29日	マレットゴルフ大会	50人	飯地町体育協会	7月上旬	ゴルフ大会	10人		9月下旬	ソフトバレー大会	20人	岩村町体育協会	7月10日	体力テスト	50人	串原体育協会	6月上旬	ささゆりウォーキング	60人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1人1運動・スポーツ」プロジェクト ＜取り組み＞ <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室においては、冬季シーズンの教室も始まるので、まずは市内小学校へチラシ配布、広報等での記事掲載を行い、多数の参加を募りたい。</li> <li>・各地区体育協会や地域ごとのスポーツイベントを開催する。 体育連盟加盟団体や認定生涯学習活動団体での会員募集や活動内容を市ウェブサイトにてPRする。</li> <li>・スポーツ推進委員連絡協議会では、軽スポーツの体験や研修を行い、地域への普及を図る。 スポーツを始めるきっかけ作りとして各種スポーツ教室を実施する。</li> <li>・ウォータースポーツ教室は継続開催し、水辺のスポーツを提供できる機会を市民に提供する。</li> </ul> </li> <li>＜課題＞ 地区体協の事業及び市民体育大会では、新型コロナウイルス感染症の影響により、運営スタッフ、参加者の確保が課題である。</li> <li>・各地区体育(スポーツ)協会や地域ごとのスポーツイベントを開催する。 大井町スポーツ協会 10月、11月 ボッチャ教室 1月 ウォーキング教室 長島町体育協会 10月22日 ボッチャ講習会 11月5日 ボッチャ体験 東野体育協会 12月上旬 ウォーキング大会 三郷町体育協会 10月16日 体力測定 11月13日 ソフトボール大会 11月13日 スポンジテニス大会 3月上旬 町内歩こう会 笠置町体育協会 2月12日 ウォーキング大会 中野方体育協会 1月1日 元旦ウォーキング 飯地町体育協会 11月19日 ソフトバレー大会 11月 ゴルフ大会 1月 ボウリング大会</li> <li>●「ささえる」プロジェクト ＜取り組み＞ <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で開催されるスポーツイベント等に、ささえるボランティア募集の案内を行う。</li> </ul> </li> <li>【その他コミュニティづくり施策】</li> <li>○総合型地域スポーツクラブの活性化 ＜取り組み＞ コロナ禍でも参加しやすい教室等内容を検討 ＜課題＞ 会員の減少 役員、指導者不足</li> </ul>
長島町体育協会	5月20日	マレットゴルフ大会	20人																																						
東野体育協会	6月26日	健幸エクササイズ	32人																																						
三郷町体育協会	5月8日	インディアカ大会	40人																																						
	6月12日	ソフトバレー大会	55人																																						
中野方体育協会	5月29日	マレットゴルフ大会	50人																																						
飯地町体育協会	7月上旬	ゴルフ大会	10人																																						
	9月下旬	ソフトバレー大会	20人																																						
岩村町体育協会	7月10日	体力テスト	50人																																						
串原体育協会	6月上旬	ささゆりウォーキング	60人																																						

区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和4年度の事業成果（令和4年9月末現在）	今後の取り組み又は課題
4 観光交流	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●観光まちづくりに取り組む <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市には、恵那峡や奥矢作湖、中山道、岩村城址と街並み、日本大正村などの観光地を抱える都市である。</li> <li>・観光資源を活用し、交流人口を拡大させ、地域のにぎわいの創出、消費の拡大、雇用の場の確保など、地域の活性化に取り組んでいる。</li> </ul> </li> <li>●スポーツと融合できる観光資源 <ul style="list-style-type: none"> <li>・木曾川でのボート・カヌー体験、笠置山でのポルタリング、明知鉄道とタイアップしたウォーキングイベントなど観光資源を活用したイベントが行うことができる。</li> <li>・着地型体験コンテンツを目的として恵那市を訪れる交流人口が増加傾向にある。</li> </ul> </li> <li>●スポーツツーリズムが注目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅でスポーツを楽しむといった、スポーツと観光を融合し、新しい価値・感動の提供をめざす「スポーツツーリズムが全国的に活発している。</li> <li>・恵那峡ハーフマラソン、日本大正村クロスカントリーには、毎年多くの参加者がある。特に市外からの参加者が多い。</li> </ul> </li> </ul> <p>【課題】</p> <p>◎観光資源と運動・スポーツの融合を図り、運動・スポーツを通じて交流・活力・にぎわいを生み出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●豊かな自然や文化が織りなす豊富な観光資源を、いかに運動・スポーツと融合させるかが重要。</li> <li>●自然や文化を生かしたスポーツ交流が数多く生まれ、運動・スポーツや観光を目的として多くの人が訪れ、活気やにぎわいに満ちたまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ交流人口数 R2 目標値（R7） 13,425人 ⇒ 26,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ合宿誘致」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・まきがね公園、山岡・明智B&amp;G等のスポーツ施設で、スポーツ合宿を受け入れた。 18件 619名</li> <li>・まきがね公園、山岡・明智B&amp;G等のスポーツ施設の予約状況をHP上に掲載し、合宿利用申し込み者の便宜を図った。</li> <li>・4月に市によるスポーツ施設等ドローンガイドライン制定により、笠置峡ボート・カヌー場での実業団チームの合宿 中部電力ボート部 8月11日～14日 明治安田生命ボート部 8月11日～20日</li> </ul> </li> <li>●「スポーツツーリズムによる地域資源活用」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケート場で遊んだ後、恵那市を観光してもらうため「どこいくマップ」を配布。</li> <li>・インターネットサイト「アエルサイト」にて、カヌー体験や宿泊施設などの情報発信を行った。</li> <li>・サイクルツーリズム普及促進事業 休憩、修理等ができるサイクリングステーションの設置に向け調整を行っている。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他観光交流施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォータースポーツ教室 東京オリンピック事前キャンプ地としてポーランドカヌーチームが利用した笠置峡は、穏やかな水面のため、水辺のスポーツ初心者でも安心して取り組める環境であり、それを有効活用するため、カヌー(2回)、SUP(2回)、ボート(1回)の3種目の教室を企画したが、天候不良や上流からのダム放流によりSUP並びにボート教室は実施できず、カヌー教室2回のみの実施となった。74名が参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ合宿誘致」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・ジバスクラム恵那、観光協会、体育施設、宿泊施設が連携し、大学や実業団への共同プロモーション活動を実施する。 スポーツ合宿助成交付金（1泊1,000円、上限20万円）を継続して実施する。</li> <li>・市内のスポーツ合宿受入可能な宿泊施設と、競技場や体育館などを合わせた一体的な情報発信をウェブサイトやSNSを活用して強化を図る。 ＜課題＞</li> <li>・中長期的には、給食や送迎など合宿に必要なサービスを提供する事業者に対し支援を図ることが求められる。</li> <li>・スポーツ合宿を通じて、関係人口を増加させるため、市民と大学や実業団が交流するスポーツ教室などの機会の開催に繋げる。</li> </ul> </li> <li>●「スポーツツーリズムによる地域資源活用」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・ジバスクラム恵那による市内事業者と域外事業者の引き合わせ、コラボレーションによる事業実施に取り組む。</li> <li>・引き続き、事業者や旅行会社がアクティビティを造成する際に必要な経費の一部を補助する。 ＜課題＞</li> <li>・森林アクティビティや水辺アクティビティなど、地域資源を活かした着地型体験コンテンツを磨き上げ、持続可能で稼げる常設型のコンテンツや旅行商品とする取り組みが必要である。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他観光交流施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ マラソン大会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・第37回日本大正村クロスカントリー大会及び第20回記念恵那峡ハーフマラソン大会の開催に向けて準備を行う。</li> </ul> </li> <li>○ オリンピアン交流事業について <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・フィギュアスケートオリンピックである村上佳菜子氏によるスケート教室及び講演会を恵那市文化振興会と共催で1月15日に開催する。</li> </ul> </li> </ul>



区分	後期計画策定時（R2）の現状と課題	めざす姿	指標	令和4年度の事業成果（令和4年9月末現在）	今後の取り組み又は課題
5 競技力向上	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●競技スポーツへの関心高まり <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年1月、9年ぶりの国体スピードスケート競技が開催され、市民のスポーツに対する関心が高まった。</li> <li>・令和3年度に東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定により、人々のスポーツに対する関心は今後も高まる。</li> </ul> </li> <li>●子どもたちは、スポーツへの意欲・やる気がある <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは、「スポーツが上手になりたい」「試合に勝ちたい」「よい記録・結果を出したい」という意欲・やる気がある。</li> <li>・世界を舞台に若いアスリートが多く活躍している。年齢を感じさせない彼らの活躍や努力を惜しまぬ姿勢は、子どもたちの憧れ・目標である。</li> </ul> </li> <li>●（公財）恵那市体育連盟のスポーツ指導者の登録 <ul style="list-style-type: none"> <li>・（公財）恵那市体育連盟は、市民の体力向上を図るとともに、地域社会の発展に寄与することを目的として、スポーツの普及振興を推進している。</li> <li>・同連盟には、種目別、地域別に多くのスポーツ指導者が登録されており、子どもから大人まで、地域のスポーツ力の向上を支援する。</li> </ul> </li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎質の高い技術・技能を持つスポーツ指導者を育成する。</li> <li>◎子どもたちの意欲・やる気を伸ばす。</li> <li>◎トップアスリートを育て、支えていく仕組みを築く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「上達したい」という意欲・やる気を大事にして、感動や興奮を与えてくれる競技スポーツ・トップアスリートとのふれあえる機会が多く、質の高い技術指導が受けられることができ、地域全体でアスリートを支える体制の整ったまちを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちの「上達したい」意欲・やる気 <ul style="list-style-type: none"> <li>【小学生】 H26 R2 目標値（R7） 52.0% ⇒ 42.7% ⇒ 52.0%</li> <li>【中学生】 H26 R2 目標値（R7） 50.2% ⇒ 40.2% ⇒ 51.0%</li> </ul> </li> <li>●国際大会出場選手 H26 R2 目標値（R7） 0人 ⇒ 1人 ⇒ 3人</li> <li>●競技人口 R2 目標値（R7） 4,200人 ⇒ 4,200人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ指導者・ボランティアバンク」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ指導者・ボランティア名簿を体育連盟ウェブサイトに掲載し、活躍する場を提供している。 登録者数 81名 ※スポーツ指導者：59名 ボランティア：22名</li> </ul> </li> <li>●「競技スポーツ指導者育成」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ指導者に対し、各種講演会、講習会などの案内を送付し、指導者として知識・技術の習得の場を提供した。指導者バンク登録者の各種資格取得の支援を実施している。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他の競技力向上施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スピードスケート選手強化育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドクラス、全日本クラスの選手2名を岐阜県枠2名の選手を恵那市体育連盟で雇用し、競技力向上と後進の指導にあたるとともに。国体を始め、全国レベルの大会での活躍を紹介しスケートへの関心を高める。また、大会において地元選手との交流や技術指導を受けることにより、選手の競技力向上を図る。</li> <li>5月4日、2名の強化選手によるスケート教室を実施し、地元恵那市のスケート選手44名に対し、全日本クラスの滑りを指導した。</li> </ul> </li> <li>○トップアスリートとの交流の機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月13日、トップ実業団である明治安田生命、中部電力、トヨタ紡織、デンソー各ボート部によるボート教室を企画したが、台風接近によるコンディション悪化で中止とした。</li> <li>・11月5日、小学生を対象に、100m走元日本記録保持者である青戸慎司氏によるかけっこ教室を実施した。全てのスポーツの基本となる走り方の指導を受けることにより、体力、競技力向上への意識付けを図った。</li> </ul> </li> <li>○大学との連携によるスポーツ指導の充実 10月15日に中京学院大学卓球部による卓球教室を開催した。 初心者 45名参加、経験者 11名参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スポーツ指導者・ボランティアバンク」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜課題＞</li> <li>・若い年代の指導者が少ない。</li> <li>・指導者を地元以外の地域から派遣することが難しい。</li> <li>・指導者と指導を求める側の条件のミスマッチがある。</li> </ul> </li> <li>●「競技スポーツ指導者育成」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・2月に中部大学生命健康科学部 酒井教授による指導者向け講演会を計画している。</li> <li>・3月に名古屋グランパス栄養アドバイザーの森裕子氏による「子どものためのスポーツ栄養セミナー」を計画している。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他の競技力向上施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スピードスケート選手強化育成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・12月に恵那スケート場で開催予定の全日本選抜スピードスケート大会に出場する、スピードスケート強化選手の活躍する姿を市民に見てもらい競技スポーツに関する関心を高める。</li> <li>・1月にアメリカで開催される、ワールドユニバーシティゲームスに日本代表として、恵那市体育連盟所属の遠藤二千翔選手が出場することが決定した。恵那スケート場が建設され17年目にして、初めて地元選手が日本代表として世界で活躍する。</li> </ul> </li> <li>○トップアスリートとの交流の機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・令和5年1月15日にプロフィギュアスケーターの村上佳菜子氏によるスケート教室を開催する。</li> <li>・スケート強化選手によるジュニアスケート選手に向けてリモート講習会を実施し、選手の意識面での底上げを図る。</li> </ul> </li> <li>○大学との連携によるスポーツ指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>＜取り組み＞</li> <li>・12月3日に中京学院大学ソフトボール部、1月に野球部を招いての教室を予定している。</li> </ul> </li> </ul>



# 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン（案）【概要】



- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※ I は中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

## I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

- (主な内容)
- ・教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
  - ・部活動指導員や外部指導者を確保
  - ・心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶の徹底
  - ・週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
  - ・地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

## II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

- (主な内容)
- ・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
  - ・地域スポーツ・文化芸術担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
  - ・指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
  - ・競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
  - ・休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
  - ・公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
  - ・困窮家庭への支援

## III 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

- (主な内容)
- ・まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
  - ・平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
  - ・①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
  - ※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
  - ・令和5年度～令和7年度までの3年間を改革集中期間として重点的に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
  - ・都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

## IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

- (主な内容)
- ・大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
  - ※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
  - ・できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
  - ・全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

## 休日の部活動の地域移行に係る要素（例）

	関係者の巻き込み・合意形成	運営団体の確保	指導者の確保	その他環境整備	実施
都道府県	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・協議会を設置 ・方針の提示 ・手引きやHPの作成、説明会の実施等を通じて情報を発信	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・都道府県単位のスポーツ・文化芸術団体との連携	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・指導者の発掘・把握 ・人材バンクの設置  【教育委員会】 ・兼職兼業の規定・運用の改善	【協議会】 ・施設利用の効率的運用等を検討し、利用ルール等を策定	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・活動を広く周知
市区町村	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・教育委員会等とも連携し、協議会を設置  【協議会】 ・関係者へのヒアリング等を実施 ・ニーズ・課題を把握  【スポーツ・文化主管課】 ・手引きやHPの作成、説明会の実施等を通じて情報を発信	【スポーツ・文化振興担当部署・協議会】 ・地域スポーツ・文化活動を担う運営団体を確保  【協議会】 ・運営団体との連携体制を構築	【協議会】 ・人材バンクの活用 ・地元の民間企業・大学等との連携 ・地域人材の掘り起こし  【協議会】 ・運営団体・実施主体とのマッチングを実施	【協議会】 ・学校施設や社会教育施設等の活動場所を確保 ・施設利用の効率的運用等を検討し、利用ルール等を策定  【協議会】 ・地域クラブ活動における活動内容を決定	【スポーツ・文化振興担当部署】 ・活動を周知し、実施
スポーツ・文化芸術団体、民間事業者等	・上記協議会への参画 ・上記ヒアリングの対応	・上記取組への協力・参画	・人材バンクへの人材登録 ・研修等を通じた指導者の質・量の確保	【運営団体】 ・地域クラブ活動における具体的な活動内容を決定	【運営団体】 ・活動を周知し、実施
学校	・上記協議会への参画 ・教師のニーズ把握 ・生徒・保護者のニーズ把握		・教師の兼職兼業の希望の把握	・利用ルールに基づく学校施設の開放	・活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有 ・地域クラブ活動について周知

恵那市中学校運動系部活動の休日の実施状況調べ

学校名	保護者、競技団体等による実施	中学校顧問による実施
恵那西中学校	バレーボール（男・女）	無
	野球（男）	無
	ソフトテニス（男・女）	無
	ソフトボール（女）	無
	バレーボール（男・女）	無
	剣道部（男・女）	無
	バスケットボール（男・女）	無
	卓球（男・女）	無
	陸上（男・女）	無
	バドミントン（男・女）	無
恵那東中学校	ソフトボール（女）	無
	ソフトテニス（男・女）	無
	バレーボール（女）	無
	卓球（男・女）	無
	バスケットボール（男・女）	無
	剣道（男・女）	無
	陸上（男・女）	無
	野球（男）	無
恵那北中学校	野球（男）	無
	ソフトテニス（女）	無
	バレーボール（男・女）	無
	卓球（男・女）	無
岩村中学校	バスケットボール（男・女）	無
	バレーボール（女）	無
	ソフトテニス（女）	無
	卓球（男・女）	無
	野球（男）	無
	スケート部（男・女）	無
山岡中学校	野球（男）	無
	バレーボール（女）	無
	バスケットボール（男・女）	無
	ソフトテニス（男・女）	無
明智中学校	陸上（男・女）	無
	卓球（男・女）	無
	バレーボール（女）	無
	ソフトテニス（男・女）	無
	バスケットボール（男・女）	無
串原中学校	卓球（男・女）	有
上矢作中学校	卓球（男・女）	有
	バレーボール（女）	無